



アクセス可能な公的保健医療サービス Publicly Funded Accessible Health Services

ICNの所信：

国際看護師協会と各国会員協会は、予防と治療の両面ですべての国民にとってアクセス可能な一連の必須保健医療サービスを提供する全国的な保健医療システムを、当該国が定めるところにしたがって開発することを支持する。

ICN は、こうしたサービスが公的資金で運営されていない場合、政府には社会的弱者グループに対してアクセス可能な保健医療サービスを保証する責任があると考えている。

アクセス可能な必須保健医療サービスは、各国の健康ニーズに即して決定されるべきである。サービス提供に際しては、効率およびコスト効果と質のバランスを勘案し、入手可能な資源を用いてこのバランスを達成するよう努力しなくてはならない。

ICN は、国民保健の優先課題および公平性、必須サービスへのアクセシビリティ、効率（生産性を含む）、コスト効果、質の高いケアに基盤を置いた保健・社会政策の策定に向けて、各国看護師協会が影響力の行使に努めることを支持する。

ICN は、看護師が幅広い役割と責任を果たせるよう、管理能力とリーダーシップ開発のための教育を促進する。また ICN は、公的保健医療サービスに関する政府方針のために、こうしたサービス提供に伴う複雑な課題への対応に必要な看護教育レベルが引き下げられることのないよう、各国看護師協会が取り組むことを支持する。

ICN と会員協会は、コミュニティや国の経済力の範囲で必須保健医療サービスへの入手可能性とアクセス可能性を向上する方法として、プライマリヘルスケアの原則を支持・推進する。

アクセス可能で、かつ、コスト効果と質の高いサービスを保証するためには、適切な規制原理・基準・仕組みを設けて、公・民いずれの保健医療サービスにも公平に適用する必要がある。

看護教育システムにおいては、環境の変化にもなうニーズに対応できるようカリキュラムを定期的に更新すること、カリキュラムを適切に実施すること、そして、最新の教育ニーズに対応することを保証する必要がある。

国民の健康は、国の生命ともいえるべき重要資源である。各国は、入手可能な資源の中で可能な限り高度な健康水準の達成を図ることを最大目標とすべきである。

ICN と会員協会は、関係者との間に効果的なネットワークを形成し、資源の分配とサービスの入手可能性がニーズと優先度に即していること、それらがプライマリヘルスケアの促進につながること、そ

して、コストと質の両面が勘案されていることを保証する必要がある。

この目標の達成を妨げる要因には、次のようなものがある：

- ヘルスサービスの需要増大（健康問題の質的・量的変化、人口高齢化、社会的期待の増大などによる）
- 資源不足や高価な先進テクノロジー導入の重視による保健医療費の高騰；
- 計画や優先度設定、保健医療システムの活用・管理が適切に行われないことによる、現有資源の不適切活用

多くの国々で保健医療改革が進められており、これらの問題への対処が試みられている。保健医療改革は、保健医療システムにおける公的・民間双方の部門に影響を及ぼす。

1995年採択

2001年改訂

関連ICN所信声明：

- 看護の価値とコスト効果の促進

関連ICN出版物：

- Cost Effectiveness in Health Care Services-Guidelines for National Nurses' Associations and Others、ジュネーブ、ICN、1993年
- Costing Nursing Services、ジュネーブ、ICN、1993年

2005年（社）日本看護協会訳

* 文書中の「看護師」とは、原文では nurse(s)であり、訳文では表記の煩雑さを避けるために「看護師」という訳語を当てるが、免許を有する看護職すべてを含むものとする。

* ICN 所信声明の著作権は、国際看護師協会(ICN)にあり、ICN の許可のもとに、(社)日本看護協会が日本語訳を作成しました。許可の無い商業目的での使用を禁止します。